

平成27年 3月5日

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会(JAVA)

理事長 長谷川裕一 様

前略

ご依頼がありました、「JAVA アンケート2015」につき、別紙のようにご返信申し上げます。

なお、ご依頼状には「アンケート用紙に回答を記入」とございましたが、製品の安全性担保と動物愛護の両立に向けての私どもの思いをご理解いただき、誤解のないようお伝えさせていただくためには、ご指定の書式で回答するのは難しいと判断いたしました。

従いまして、お送りいただいたアンケート用紙の書式に替え、今回お送りする書式にて返信させていただきます。

どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

〒131-8501

東京都墨田区文花 2-1-3

花王株式会社

生活者コミュニケーションセンター

Tel 03-5630-9911

Fax 03-5630-9919

e-mail soudan@kao.co.jp

化粧品等の動物実験に関する回答

平成 27 年 3 月 5 日

花王株式会社

生活者コミュニケーションセンター

ご送付いただきました「J A V A化粧品アンケート2015」に関しまして、弊社の考え方を回答申し上げます。なお、誤解のないようお伝えさせていただくために、ご指定の書式ではなく本書面にて回答させていただきます。

花王グループは、より豊かな生活文化の創造を目指し、より高い商品価値の創造に取り組んでいます。それと同時に花王グループが提供する全ての製品の安全性確保は何よりも重要な社会的な責務と考えております。

動物実験の廃止に向けた動きは世界的なものであり、花王グループはこれに賛同し、積極的に取り組んでいます。弊社は、化粧品（薬用化粧品を含む）の研究・開発においては既に動物実験を行っておらず、外部にも動物実験を委託していません。今後も製品・原料の自社における実施・外部委託を問わず、化粧品（薬用化粧品を含む）のための動物実験は行わない方針です（※1）。また、トイレタリー製品の安全性確認においても、動物を用いた試験は行っておりません。なお、社会の要請により安全性の説明をする必要が生じた場合は除きます（※2）。

※1 安全性情報を広く収集し、また弊社における今までの知見を含めた情報データベースを構築するとともに動物実験代替法を積極的に取り入れています。また十分な安全性を確認した後、人が実際にその製品を使う場面でも製品に問題がないことを確認するために実使用評価も行っており、これらにより製品の安全性を確認しています。

※2 市場にある製品に関して、改めてその安全性を証明する必要が生じ、そのための選択肢が動物実験しかない場合や、法規制等により動物実験が不可欠となっている場合。

動物実験代替法の技術開発について、弊社は1980年代後半から現在に至るまで約20年にわたり、積極的に取り組んできています。また、動物実験代替法はグローバルに広く使える公的な試験法であるべきと考え、国際的な試験法ガイドライン化に向けた取り組みをグローバルの研究機関と連携して積極的に行っています。また欧州化粧品工業会（Cosmetics Europe）が推進する動物試験代替法のプロジェクトにも参加しており、今後も、国内外の業界団体、競合他社等とも共同し、グローバルな取組みを積極的に進めて参ります。

弊社は、今後ともお客様に安全な製品をお届けしていくことを第一に、動物愛護、環境保護も十分考慮し、信頼される製品づくりになおいっそう取り組んで参ります。なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。